

注3

大学番号：141

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

横浜薬科大学 薬学部 薬科学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 都築第一学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ホウジンホンブソウムカチョウ 法人本部総務課長 カノウヤスオ 狩野康夫

電話番号 045-859-1300

（夜間） 045-859-1300

F A X 045-859-1301

e-mail soumu@hamayaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 薬学部

＜薬科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 都築第一学園

## (2) 大学名

横浜薬科大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒245-0066

神奈川県横浜市戸塚区俣野町字東原601番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( ツヅキ キミコ ) 都築 仁子 (平成16年5月)		
学長	( エサキ レオナ ) 江崎 玲於奈 (平成18年4月)		
学部長	( イシゲ アツシ ) 石毛 敦 (平成26年4月)	( シノヅカ タツオ ) 篠塚 達雄 (平成30年4月)	学部長交代のため 平成30年4月1日 (30)
学科長等	( タカハシ タカシ ) 高橋 孝志 (平成27年4月)	( オカ ミカコ ) 岡 美佳子 (平成29年4月)	学科長交代のため 平成29年4月1日 (29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
薬学部 薬科学科 学士（薬科学）	薬学関係	4 年	30 人	0 年次 人	120 人	—

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	30 ( - ) [ - ]	—	30 ( - ) [ - ]	—	30 ( - ) [ - ]	—	30 ( - ) [ - ]	—	30 ( - ) [ - ]	—	1.07倍	1.07倍	
志願者数	349 ( - ) [ - ]	—	320 ( - ) [ - ]	—	266 ( - ) [ - ]	—	273 ( - ) [ - ]	—	261 ( - ) [ - ]	—			
受験者数	336 ( - ) [ - ]	—	306 ( - ) [ - ]	—	247 ( - ) [ - ]	—	255 ( - ) [ - ]	—	241 ( - ) [ - ]	—			
合格者数	74 ( - ) [ - ]	—	80 ( - ) [ - ]	—	82 ( - ) [ - ]	—	110 ( - ) [ - ]	—	116 ( - ) [ - ]	—			
B 入学者数	32 ( - ) [ - ]	—	32 ( - ) [ - ]	—	33 ( - ) [ - ]	—	33 ( - ) [ - ]	—	32 ( - ) [ - ]	—			
入学定員超過率 B/A	1.06		1.06		1.10		1.10		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	32 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	33 [ - ] (1)	- [ - ] ( - )	34 [ - ] (1)	- [ - ] ( - )	33 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	32 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2 年次	/		31 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	32 [ - ] (3)	- [ - ] ( - )	35 [ - ] (2)	- [ - ] ( - )	35 [ - ] (1)	- [ - ] ( - )	
3 年次			/		/		30 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	30 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	35 [ - ] (3)
4 年次	/						/		/		30 [ - ] ( - )
計			32 [ - ] ( - )	64 [ - ] (1)	96 [ - ] (4)	128 [ - ] (2)					132 [ - ] (4)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	32人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成28年度	64人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
平成29年度	96人	4人	平成27年度	3人	0人	進路変更(2人)、家庭の事情(1人)
			平成28年度	1人	0人	家庭の事情(1人)
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	128人	2人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	1人	0人	就学意欲の低下(1人)
			平成29年度	1人	0人	家庭の事情(1人)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	132人	2人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	1人	0人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			平成30年度	1人	0人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和元年度	0人	0人	
合計		8人		8人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{64} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{96} = \boxed{4.16} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{128} = \boxed{1.56} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{132} = \boxed{1.51} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<薬学部 薬科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎英語 1	1前	1								1
	情報科学入門	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	教養化学	1前	1.5								2
	教養生物学	1前	1.5								6
	教養物理学	1前	1.5								1
	基礎数学	1前	1.5								1
	人間と哲学	1前		1							1
	社会と法律	1前		1							1
	社会と経済	1前		1							1
	英会話 1	1前		1							1
	中国語 1	1前		1							1
	ドイツ語 1	1前		1							1
	基礎英語 2	1後		1							1
	薬学英語 1	1後		1							1
	国語表現法	1後		1							1
	医療と哲学	1後		1							1
	情報処理演習	1後		1							1
	医療と経済	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	英会話 2	1後		1							1
	中国語 2	1後		1							1
	ドイツ語 2	1後		1							1
	薬学英語 2	2前		1							1
	薬学英語 3	3前		1							1
	教職概論	1前		2		1					
	教育課程論	1後		2		1					
	授業研究	2前		2		1					
	教育基礎論 (原理・教育史)	2前		2		1					
	教育制度 (法規・制度・行政)	2前		2		1					
	教育の心理学	2後		2		1					
教育方法・技術論	2後		2		1						
理科教育法 1	3前		2		1						
理科教育法 2	3後		2		1						
理科教育法 3	3前		2		1						
理科教育法 4	3後		2		1						
生徒進路・指導論 (キャリア教育)	3前		2		1						
教育実習研究 (事前・事後指導)	4前		1		1						
教育実習 1	2前		4		1						
教職実践演習	4後		2		1						
教養地学	1後		2		1						
地学概説	2前		2		1						
地学系実習 1	3前		2		1						
地学系実習 2	3後		2		1						
小計(45科目)	-		16	51	0	19	0	0	0	0	32
体育実技	1前後			1.5							1
小計(1科目)	-		0	0	1.5	0	0	0	0	0	1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎英語 1	1前	1								1
	情報科学入門	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	教養化学	1前	1.5								3
	教養生物学	1前	1.5								7
	教養物理学	1前	1.5								1
	基礎数学	1前	1.5								1
	人間と哲学	1前		1							1
	社会と法律	1前		1							1
	社会と経済	1前		1							1
	英会話 1	1前		1							1
	中国語 1	1前		1							1
	ドイツ語 1	1前		1							1
	基礎英語 2	1後		1							1
	薬学英語 1	1後		1							2
	国語表現法	1後		1							1
	医療と哲学	1後		1							1
	情報処理演習	1後		1							1
	医療と経済	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	英会話 2	1後		1							1
	中国語 2	1後		1							1
	ドイツ語 2	1後		1							1
	薬学英語 2	2前		1							3
	薬学英語 3	3前		1							2
	教職概論	1前		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	教育課程論	2後		2							1
	教育実地研究	1後		2							1
	教育基礎論 (原理・教育史)	1後		2							2
	教育制度 (法規・制度・行政)	2後		2							1
教育の心理学	2後		2							1	
教育方法・技術論	3後		2							1	
理科教育法 1	2後		2		1					3	
理科教育法 2	3前		2		1					3	
理科教育法 3	3後		2		1					3	
理科教育法 4	4前		2		1						
生徒進路・指導論 (キャリア教育)	3後		2		1						
道徳教育	3後		2							2	
特別支援教育概論	3前		2							1	
特別活動論	3後		2							1	
教育相談	3後		2							1	
教育実習研究 (事前・事後指導)	4前		1							1	
教育実習 I	4前		2							2	
教育実習 II	4前		2							2	
教職実践演習	4後		2		1					1	
地学概説 I	1後		2		1						
地学概説 II	2前		2		1						
地学実験	2前		2		1						
物理学実験	2後		2							1	
運動科学概論	1前		1							1	
小計(52科目)	-		16	62	0	9	0	0	0	0	69
体育実技	1前後			1.5							1
海外で学ぶ実践英会話	1~4			2							
海外で学ぶ薬学	1~4			1							
小計(3科目)	-		0	0	4.5	0	0	0	0	0	1





【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎英語1	1前	1								1
	情報科学入門	1前	1								1
	心理学	1前	1			1					
	教養化学	1前	1.5								2
	教養生物学	1前	1.5								6
	教養物理学	1前	1.5								1
	基礎数学	1前	1.5								1
	人間と哲学	1前		1							1
	社会と法律	1前		1							1
	社会と経済	1前		1							1
	英会話1	1前		1							1
	中国語1	1前		1							1
	ドイツ語1	1前		1							1
	基礎英語2	1後	1								1
	薬学英語1	1後	1								1
	国語表現法	1後	1								1
	医療と哲学	1後	1								1
	情報処理演習	1後	1								1
	医療と経済	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	英会話2	1後		1							1
	中国語2	1後		1							1
	ドイツ語2	1後		1							1
	薬学英語2	2前	1				1				
	薬学英語3	3前	1			1					1
	教職概論	1前		2		1					
	日本国憲法	1後		2							1
	教育課程論	2後		2		1					
	教育現地研究	1後		2		1					
	教育基礎論(原理・教育史)	1後		2		1					1
	教育制度(法規・制度・行政)	2前		2		1					
	教育の心理学	2前		2		1					
教育方法・技術論	2後		2		1						
理科教育法1	3前		2		1						
理科教育法2	3後		2		1						
理科教育法3	3前		2		1						
理科教育法4	3後		2		1						
生徒進路・指導論(キャリア教育)	3前		2		1						
道徳教育	3前		2							3	
特別支援教育概論	3前		2							1	
特別活動	3後		2							1	
教育相談	3後		2							2	
教育実習研究(事前・事後指導)	4前		1		1						
教育実習I	4前		2		2						
教育実習II	4前		2		2						
教職実践演習	4後		2		2						
地学概説I	1後		2		2						
地学概説II	3前		2		1						
地学実験	2前		2		1						
物理学実験	2前		2							1	
運動科学概論	1後		1							1	
小計(52科目)	-	16	62	0	23	0	1	0	0	41	
自由科目	体育実技	1前後		1.5						1	
	小計(1科目)	-	0	0	1.5	0	0	0	0	1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎英語1	1前	1								1
	情報科学入門	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	教養化学	1前	1.5								3
	教養生物学	1前	1.5								7
	教養物理学	1前	1.5								1
	基礎数学	1前	1.5								1
	人間と哲学	1前		1							1
	社会と法律	1前		1							1
	社会と経済	1前		1							1
	英会話1	1前		1							1
	中国語1	1前		1							1
	ドイツ語1	1前		1							1
	基礎英語2	1後	1								1
	薬学英語1	1後	1								2
	国語表現法	1後	1								1
	医療と哲学	1後	1				1				1
	情報処理演習	1後	1								1
	医療と経済	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	英会話2	1後		1							1
	中国語2	1後		1							1
	ドイツ語2	1後		1							1
	薬学英語2	2前	1								5
	薬学英語3	3前	1								2
	教職概論	1前		2		1					
	日本国憲法	1後		2							1
	教育課程論	2後		2		1					
	教育現地研究	1後		2		1					
	教育基礎論(原理・教育史)	1後		2		1					1
	教育制度(法規・制度・行政)	2後		2		1					
	教育の心理学	2後		2		1					
教育方法・技術論	3後		2		1						
理科教育法1	2後		2		1					3	
理科教育法2	3前		2		1					3	
理科教育法3	3後		2		1					3	
理科教育法4	4前		2		1						
生徒進路・指導論(キャリア教育)	3後		2		1						
道徳教育	3後		2							2	
特別支援教育概論	3前		2							1	
特別活動	3後		2							1	
教育相談	3後		2							1	
教育実習研究(事前・事後指導)	4前		1		1						
教育実習I	4前		2		2						
教育実習II	4前		2		2						
教職実践演習	4後		2		2						
地学概説I	1後		2		1						
地学概説II	2前		2		1						
地学実験	2前		2		1						
物理学実験	2後		2							1	
運動科学概論	1前		1							1	
小計(52科目)	-	16	62	0	23	0	0	0	0	57	
自由科目	体育実技	1前後		1.5						1	
	小計(1科目)	-	0	0	1.5	0	0	0	0	1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	導入科目	薬学概論	1前	1								2	
	社会薬学1	1前	1.5									3	
	基礎統計学	1後	1									1	
	医学概論	2後	1									1	
	創薬化学系	有機化学1	1前	1.5									1
		有機化学2	1後	1.5									1
		基礎化学講座	1後	1.5									1
		薬用植物学	1後	1									1
		有機化学3	2前	1.5			1		1				1
		生薬学	2前	1.5									1
		有機化学4	2後	1.5			1		1				1
		医薬品化学	3前	1.5				1	1				1
		天然有機化学	3後	1.5				1	1				1
薬品合成1		3後	1.5					1				1	
薬品分析系	薬品合成2	4前	1.5					1				3	
	薬学企業概論	4前	1.5				1					1	
	医薬品開発論	4後	1.5									3	
	化粧品科学	4後	1.5			1						1	
	分析化学1	1後	1									1	
	分析化学2	2前	1									1	
	分光分析学	2前	1									1	
	構造解析学	2後	1									1	
	薬品物理化学1	2前	1.5									2	
	薬品物理化学2	2後	1.5									1	
医療生物系	臨床放射線科学	3後	1									1	
	機能形態学1	1前	1.5									1	
	機能形態学2	1後	1.5									1	
	栄養学	1後	1				1					1	
	細胞生物学	1後	1.5									2	
	生化学1	1後	1.5									1	
	機能形態学3	2前	1.5									1	
	生化学2	2前	1.5									1	
	生化学3	2後	1									1	
	微生物学	2後	1.5									1	
基礎医療系	免疫学	2後	1.5									1	
	分子生物学1	3前	1.5									1	
	分子生物学2	3後	1.5									1	
	薬理学1	2前	1.5									2	
	薬理学2	2後	1.5									1	
	物理薬剤学1	2後	1									2	
	食品衛生学	2後	1.5									2	
	薬理学3	3前	1.5									1	
	薬物動態学1	3前	1									2	
	機能性物質学	3前	1.5			1						1	
臨床医療系	薬理学4	3後	1.5									2	
	医療倫理学	3後	1.5									1	
	臨床解析学	4前	1.5			1						2	
	毒性学	4後	1.5									1	
	選択科目	漢方入門	1前		1								1
		運動生理学	1前		1								1
		食品機能学	3前		1								1
		民間薬概論	3前		1								1
		薬物と健康	3後		1								1
		食品安全性学	4前		1								1
実習・演習		生物系実習1	2前	1									4
		物理系実習1	2前	1									3
		化学系実習1	2前	1					1				2
		生物系実習2	2後	1									2
	物理系実習2	2後	1									3	
	化学系実習2	2後	1				1	1				1	
	薬学文献講読1	3前	1.5			4	1	3				3	
	薬学文献講読2	3後	1.5			4	1	3				3	
	薬学プレゼンテーション1	3後	1.5			4	1	3				3	
	卒業研究1	3前	5			4	1	3				3	
小計(70科目)	卒業研究2	3後	5			4	1	3				3	
	薬学文献講読3	4前	1.5			4	1	3				3	
	薬学文献講読4	4後	1.5			4	1	3				3	
	薬学プレゼンテーション2	4後	1.5			4	1	3				3	
	卒業研究3	4前	5			4	1	3				3	
	卒業研究4	4後	5			4	1	3				3	
	合計(123科目)	-	100.5	68	1.5	46	13	39	0	0	0	0	72
	合計(123科目)	-	116.5	68	1.5	69	13	40	0	0	0	0	114

卒業要件及び履修方法

必修科目116.5単位、教養科目の選択科目から4単位、専門科目の選択科目から4単位以上を修得し、合計124.5単位以上を修得する。  
(履修科目の登録の上限：40単位(年間))

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	導入科目	薬学概論	1前	1								2	
	社会薬学1	1前	1									3	
	基礎統計学	1後	1					1	1			1	
	医学概論	2後	1									1	
	創薬化学系	有機化学1	1前	1.5									1
		有機化学2	1後	1.5									1
		基礎化学講座	1後	1.5									2
		薬用植物学	1後	1									1
		有機化学3	2前	1.5							1		1
		生薬学	2前	1.5									1
		有機化学4	2後	1.5							1		1
		医薬品化学	3前	1.5									2
		天然有機化学	3後	1.5							1		1
薬品合成1		3後	1.5							1		1	
薬品分析系	薬品合成2	4前	1.5							1		3	
	薬学企業概論	4前	1.5				1					1	
	医薬品開発論	4後	1.5									3	
	化粧品科学	4後	1.5			1						1	
	分析化学1	1後	1									1	
	分析化学2	2前	1									1	
	分光分析学	2前	1									2	
	構造解析学	2後	1									2	
	薬品物理化学1	2前	1.5									2	
	薬品物理化学2	2後	1.5									1	
医療生物系	臨床放射線科学	3後	1									1	
	機能形態学1	1前	1.5									1	
	機能形態学2	1後	1.5							1		1	
	栄養学	1後	1									1	
	細胞生物学	1後	1.5									2	
	生化学1	1後	1.5									2	
	機能形態学3	2前	1.5									3	
	生化学2	2前	1.5									3	
	生化学3	2後	1									3	
	微生物学	2後	1.5									2	
基礎医療系	免疫学	2後	1.5									3	
	分子生物学1	3前	1.5									1	
	分子生物学2	3後	1.5									1	
	薬理学1	2前	1.5									2	
	薬理学2	2後	1.5									1	
	物理薬剤学1	2後	1									2	
	食品衛生学	2後	1.5									2	
	薬理学3	3前	1.5									2	
	薬物動態学1	3前	1									2	
	機能性物質学	3前	1.5							1		1	
臨床医療系	薬理学4	3後	1.5									2	
	医療倫理学	3後	1.5									6	
	臨床解析学	4前	1.5			1						2	
	毒性学	4後	1.5									1	
	選択科目	漢方入門	1前		1								2
		運動生理学	1前		1								1
		食品機能学	3前		1								1
		民間薬概論	3前		1								1
		薬物と健康	3後		1								1
		食品安全性学	4前		1								1
実習・演習		生物系実習1	2前	1									9
		物理系実習1	2前	1									5
		化学系実習1	2前	1							1		5
		生物系実習2	2後	1									8
	物理系実習2	2後	1									5	
	化学系実習2	2後	1								2	4	
	薬学文献講読1	3前	1.5					3	1	3		6	
	薬学文献講読2	3後	1.5					3	1	3		6	
	薬学プレゼンテーション1	3前後	1.5					3	1	3		6	
	卒業研究1	3前	5			4	1	3				3	
小計(71科目)	卒業研究2	3後	5			4	1	3				3	
	薬学文献講読3	4前	1.5			4	1	3				3	
	薬学文献講読4	4後	1.5			4	1	3				3	
	薬学プレゼンテーション2	4後	1.5			4	1	3				3	
	卒業研究3	4前	5			4	1	3				3	
	卒業研究4	4後</											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎英語1	1前	1								1
	情報科学入門	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	教養化学	1前	1.5								3
	教養生物学	1前	1.5								7
	教養物理学	1前	1.5								1
	基礎数学	1前	1.5								1
	人間と哲学	1前		1							1
	社会と法律	1前		1							1
	社会と経済	1前		1							1
	英会話1	1前		1							1
	中国語1	1前		1							1
	ドイツ語1	1前		1							1
	基礎英語2	1後		1							1
	薬学英語1	1後		1							2
	国語表現法	1後		1							1
	医療と哲学	1後		1							1
	情報処理演習	1後		1							1
	医療と経済	1後			1						1
	医療と法律	1後			1						1
	社会福祉学	1後			1						1
	英会話2	1後			1						1
	中国語2	1後			1						1
	ドイツ語2	1後			1						1
	薬学英語2	2前		1							3
	薬学英語3	3前		1							2
	教職概論	1前			2						1
	日本国憲法	1後			2						1
	教育課程論	2後			2						1
	教育実地研究	1後			2						1
	教育基礎論 (原理・教育史)	1後			2						2
	教育制度 (法規・制度・行政)	2後			2						1
	教育の心理学	2後			2						1
	教育方法・技術論	3後			2						1
	理科教育法1	2後			2		1				3
	理科教育法2	3前			2		1				3
	理科教育法3	3後			2		1				3
	理科教育法4	4前			2		1				
	生徒進路・指導論 (キャリア教育)	3後			2		1				
	道徳教育	3後			2						2
特別支援教育概論	3前			2						1	
特別活動論	3後			2						1	
教育相談	3後			2						1	
教育実習研究 (事前・事後指導)	4前			1						1	
教育実習Ⅰ	4前			2						2	
教育実習Ⅱ	4前			2						2	
教職実践演習	4後			2		1				1	
地学概説Ⅰ	1後			2		1					
地学概説Ⅱ	2前			2		1					
地学実験	2前			2		1					
物理学実験	2後			2						1	
運動科学概論	1前			1						1	
小計(52科目)	-	16	62	0	9	0	0	0	0	69	
自由科目	体育実技	1前後		1.5						1	
	小計(1科目)	-	0	0	1.5	0	0	0	0	1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	薬学概論	1前	1								2	
	社会学1	1前	1								4	
	基礎統計学	1後	1			1	1					
	医学概論	2後	1								1	
	専門科目 創薬化学系	有機化学1	1前	1.5				1				1
		有機化学2	1後	1.5					1			1
		基礎化学講座	1後	1.5								1
		薬用植物学	1後	1								1
		有機化学3	2前	1.5					1			1
		生薬学	2前	1.5								1
有機化学4		2後	1.5					1			1	
医薬品化学		3前	1.5								2	
天然有機化学		3後	1.5				1	1				
薬品合成1		3後	1.5					1			1	
薬品合成2	4前	1.5					1					
薬学企業概論	4前	1.5				2						
医薬品開発論	4後	1.5								1		
化粧品科学	4後	1.5								1		
薬品分析系	分析化学1	1後	1								1	
	分析化学2	2前	1								1	
	分光分析学	2前	1								1	
	構造解析学	2後	1								1	
	薬品物理化学1	2前	1.5								2	
	薬品物理化学2	2後	1.5								1	
	臨床放射線科学	3後	1								1	
医療生物系	機能形態学1	1前	1.5								1	
	機能形態学2	1後	1.5			1					1	
	栄養学	1後	1								1	
	細胞生物学	1後	1.5								2	
	生化学1	1後	1.5								2	
	機能形態学3	2前	1.5								3	
	生化学2	2前	1.5								2	
	生化学3	2後	1								3	
	微生物学	2後	1.5								2	
	免疫学	2後	1.5								3	
	分子生物学1	3前	1.5								1	
分子生物学2	3後	1.5			1					1		
基礎医療系	薬理学1	2前	1.5								2	
	薬理学2	2後	1.5								1	
	物理薬剤学1	2後	1								2	
	食品衛生学	2後	1.5								2	
	薬理学3	3前	1.5								2	
	薬物動態学1	3前	1			2					2	
	機能性物質学	3前	1.5				1				1	
薬理学4	3後	1.5								2		
早期体験学習	1後	0.5								2		
臨床医療系	医療倫理学	3後	1.5								1	
	臨床解析学	4前	1.5			1					1	
	毒性学	4後	1.5								1	
選択科目	漢方入門	1前		1							2	
	運動生理学	1前		1							1	
	食品機能学	3前		1							1	
	民間薬概論	3前		1							1	
	薬物と健康	3前		1							1	
	食品安全性学	4前		1							1	
実習・演習	生物系実習1	2前	1								9	
	物理系実習1	2前	1								5	
	化学系実習1	2前	1					1			5	
	生物系実習2	2後	1								8	
	物理系実習2	2後	1								5	
	化学系実習2	2後	1					2			4	
	薬学文献講読1	3前	1.5			3	1	3			6	
	薬学文献講読2	3後	1.5			3	1	3			6	
	薬学プレゼンテーション1	3前後	1.5			3	1	3			6	
	卒業研究1	3前	5			4	1	3				
	卒業研究2	3後	5			4	1	3				
	薬学文献講読3	4前	1.5			4	1	3				
	薬学文献講読4	4後	1.5			4	1	3				
	薬学プレゼンテーション2	4前後	1.5			4	1	3				
卒業研究3	4前	5			4	1	3					
卒業研究4	4後	5			4	1	3					
小計(71科目)	-	100.5	6	0	45	14	39	0	0	129		
合計(124科目)	-	116.5	68	1.5	54	14	39	0	0	199		
卒業要件及び履修方法												
必修科目116.5単位、教養科目の選択科目から4単位、専門科目の選択科目から4単位以上を修得し、合計124.5単位以上を修得する。 (履修科目の登録の上限：40単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

**【平成28年度】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業科目の名称変更により、「薬学基礎講座」を「基礎化学講座」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「心理学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼1」から「兼0」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学英語2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学概論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼1」から「兼0」に変更</li> <li>・ 教職課程の開設により、「教職概論」以下26科目を開講</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬品物理化学1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「機能形態学2」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「栄養学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「機能形態学3」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「微生物学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「免疫学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬理学1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬理学2」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「食品衛生学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> </ul>
---

**【平成29年度】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当教員の変更により、「教育相談」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 配当年次の変更により、「物理学実験」の配当年次を「2前」から「2後」に変更</li> <li>・ 配当年次の変更により、「運動科学概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「分光分析学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「構造解析学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「機能形態学2」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「生化学1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「機能形態学3」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「生化学2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「免疫学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「分子生物学2」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬理学3」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬物動態学1」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「機能性物質学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬物動態学1」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更</li> <li>・ 授業科目の追加により、「早期体験学習」を開講</li> <li>・ 担当教員の変更により、「医療倫理学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「漢方入門」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 配当年次の変更により、「薬物と健康」の配当年次を「3後」から「3前」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「免疫学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「生物系実習1」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼9」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「物理系実習1」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「化学系実習1」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「生物系実習2」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼8」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「物理系実習2」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「化学系実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師1」から「講師2」、「兼1」から「兼4」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学文献講読1」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」、「兼0」から「兼6」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学文献講読2」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」、「兼0」から「兼6」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学薬学プレゼンテーション1」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」、「兼0」から「兼6」に変更</li> <li>・ 配当年次の変更により、「薬学薬学プレゼンテーション1」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更</li> </ul>
---

**【平成30年度】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当教員の変更により、「医療と哲学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学英語2」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼3」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教職概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育課程論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育現地研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼1」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学基礎論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼1」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育制度」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育の心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育方法・技術論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育実習研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育実習I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「兼0」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「教育実習II」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「兼0」から「兼2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「社会薬学1」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「薬学企業概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「香粧品科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「分光分析学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「構造解析学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更</li> <li>・ 担当教員の変更により、「医療倫理学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼1」に変更</li> <li>・ 配当年次の変更により、「薬学薬学プレゼンテーション2」の配当年次を「4後」から「4前後」に変更</li> </ul>
---

**【令和元年度】**

- ・科目履修順次のみ直しの理由により、「薬学企業概論」の配当年次を「4前」から「2前」に変更。
- ・科目履修順次のみ直しの理由により、「物理薬理学」の配当年次を「2後」から「3前」に変更。
- ・科目履修順次のみ直しの理由により、「薬物動態学」の配当年次を「3前」から「2後」に変更。
- ・グローバル教育充実の理由により、「海外で学ぶ実践英会話」を自由科目に追加。
- ・グローバル教育充実の理由により、「海外で学ぶ薬学」を教養科目の自由科目に追加。
- ・漢方教育充実の理由により、「一般漢方薬学」を専門科目の選択科目に追加。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
78 科目	37 科目	1 科目	116 科目	79 科目 [ 1 ]	45 科目 [ 8 ]	3 科目 [ 2 ]	127 科目 [ 11 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{\phantom{0}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積：23,689㎡ 借用期間：平成16年か ら33年間 平成27年3月学校法人 都築学園から校地取得 (27) 校地・校舎変更届提出 (27) 校舎変更届提出(30)		
	校舎敷地	56,734 65,592 65,344	0㎡	0㎡	65,592 65,344㎡			
	運動場用地	2,251㎡	0㎡	0㎡	2,251㎡			
	小 計	58,985 67,843 67,595㎡	0㎡	0㎡	67,843 67,595㎡			
	そ の 他	12,757 3,899 2,202㎡	0㎡	0㎡	3,899 2,202㎡			
	合 計	71,742 69,797㎡	0㎡	0㎡	71,742 69,797㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎変更届提出(元)		
		29,687㎡ -27,963㎡ (29,687㎡) (27,963㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	29,687㎡ -27,963㎡ (29,687㎡) (27,963㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 改装のため(30) 増築のため(元)		
	2-2 2-4-2 6室	4室	8室	2室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成27年4月教職課程教 員1名を新規採用及び学 部内の室配置変更のため (27)		
	薬学部 薬科学科			7 4 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	薬学部	55,500 [12,000] 51,624 [10,813] 52,545 [12,532] 56,289 [12,091] 53,919 [12,032] 51,405 [12,582]	750 [120] 685 [121] 640 [124] 630 [115] 611 [123] 602 [122]	70 [70] 88 [87] 83 [82] 73 [73] 71 [71] 66 [66]	600 606 605 605 594 591	4,758	0	
		計	750 [120] 685 [121] 640 [124] 630 [115] 611 [123] 602 [122]	70 [70] 88 [87] 83 [82] 73 [73] 71 [71] 66 [66]	600 606 605 605 594 591	4,758	0	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体での共用		
	1,531㎡		427席	55,500冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,989㎡		屋 内 テ ニ ス コ ー ト 4 面		運 動 場 1 面			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度
		教員1人当たり研究費等	1,000千円	1,000千円	図書購入費	21,000千円	21,000千円	21,000千円
	共 同 研 究 費 等	20,000千円	20,000千円	設 備 購 入 費	170,000千円	170,000千円	170,000千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,800千円	1,740千円	1,740千円	1,740千円	— 千円	— 千円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要		資 産 運 用 、 事 業 収 入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4. 既設大学等の状況

大学の名称	横浜薬科大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
薬学部									-	
健康薬学科	6	60	-	360	学士 (薬学)	1.11	-	平成18年度	神奈川県横浜市戸塚区俣野町字東原601番1号	
漢方薬学科	6	120	-	720	学士 (薬学)	1.11	-	平成18年度	同上	
臨床薬学科	6	160	-	960	学士 (薬学)	1.10	-	平成18年度	同上	
薬科学科	4	30	-	120	学士 (薬科学)	1.07	-	平成27年度	同上	
大学院薬学研究科									-	
薬科学専攻 (修士課程)	2	8	-	16	修士 (薬科学)	0.63	-	平成31年度	神奈川県横浜市戸塚区俣野町字東原601番1号	
薬学専攻 (博士課程)	4	3	-	12	博士 (薬学)	1.67	-	平成31年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<薬学部 薬科学科>

(1) ① 担当教員表(略)

(1) ② 担当教員表に関する変更内容

### 【平成28年度】

- ・岩瀬寛盛教授退職により、岡美佳子教授に変更。
- ・大久保明教授退職により、山下幸和教授及び石毛敦教授に変更。
- ・清水俊一教授退職により、田邊由幸教授に変更。
- ・原克昭講師就任辞退により、中村晋吾講師に変更。
- ・種田佳紀講師就任辞退により、田村芳昭講師に変更。・木村正幸教授退職により、石井邦雄教授に変更。
- ・寺林進教授担当科目見直しにより、榊原巖教授に変更。
- ・野澤むつこ講師退職により、吉田林講師及び藤井敬子講師に変更。
- ・渡辺美奈子講師退職により、久保山亮講師に変更。
- ・橋本敬太郎講師退職により、中野真講師に変更。

### 【平成29年度】

- ・高橋孝志教授兼任へ変更により、専任を岡美佳子教授に変更。
- ・渡邊泰雄教授兼任へ変更により、専任を遠水耕介准教授に変更。
- ・稲田幸男教授内部異動により、兼担へ変更。
- ・梶輝行教授内部異動により、兼担へ変更。
- ・榊原康宏准教授内部異動により、兼担へ変更。
- ・中条茂男教授退職により、森和也教授、鹿本泰生講師、石橋雪子講師、小笹徹教授、小侯義明教授及び中野泰子教授に変更。
- ・深井俊夫教授退職により、北川康行教授に変更。
- ・武田収功教授退職により、佐藤康夫教授及び磯村茂樹准教授に変更。
- ・池田敏彦教授退職により、弓田長彦教授、岩瀬由未子講師及び吉門崇講師に変更。
- ・澤木康平教授担当科目見直しにより、黒岩美枝准教授に変更。
- ・小宮克美講師退職により、奥津泉講師に変更。
- ・石井雅之講師退職により、小笠原善康教授及び梶輝行教授に変更。
- ・石川達祐講師退職により、岡田賢二講師に変更。
- ・富田りか講師退職により、小林靖講師に変更。
- ・田村芳昭講師退職により、小林靖講師に変更。

### 【平成30年度】

- ・榊原康宏准教授が内部異動により、専任へ変更。
- ・石崎睦雄教授退職により、望月直樹教授に変更。
- ・大場正志教授退職により、庄司満教授に変更。
- ・桑原弘行教授担当科目見直しにより、曾根秀子教授に変更。

### 【令和元年度】

- ・平成31年4月塚本裕一教授が専任教員へ就任。
- ・平成31年4月庄司満教授が専任教員へ就任。
- ・平成31年4月西崎有利子講師が専任教員へ就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
7	1	3	0	11	6	2	4	0	12
(5)	(1)	(3)	(0)	(9)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
4	2	3	0	9	該当なし	(完成年度経過)			
[Δ3]	[+1]	[0]	[0]	[Δ2]					

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授 65 その他 60	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{11} = \boxed{81.81} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	25	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	50	科目	計	0	科目	計	25	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	福田 幸男	選択	教育の心理学	②	教職センターへ配置換えのため、兼担へ変更 (29)				
			選択	教育方法・技術論	②					
			選択	教育実習演習	②					
			選択	教職実践演習	①					
			選択	教育現地研究	②					
			選択	教育実習Ⅰ	②					
2	教授	梶 輝行	選択	教職概論	②	教職センターへ配置換えのため、兼担へ変更 (29)				
			選択	教育課程論	②					
			選択	教育基礎論	②					
			選択	生徒進路・指導論	②					
			選択	教育方法・技術論	②					
			選択	教育実習Ⅰ	②					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	1	科目	選択	13	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	1	科目	計	13	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	1	科目	選択	13	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	1	科目	計	13	科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{11} = \boxed{18.18} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	高橋 孝志	必修	有機化学3	①	定年年齢を超過したため、兼任へ変更 (29)	
			必修	有機化学4	①		
			必修	薬学企業概論	①		
			必修	薬学文献講読1	①		
			必修	薬学文献講読2	①		
			必修	薬学文献講読3	①		
			必修	薬学文献講読4	①		
			必修	卒業研究1	①		
			必修	卒業研究2	①		
			必修	卒業研究3	①		
			必修	卒業研究4	①		
			必修	プレゼンテーション1	①		
			必修	プレゼンテーション2	①		
2	教授	渡邊 泰雄	必修	機能性物質学	①	定年年齢を超過したため、兼任へ変更 (29)	
			必修	香粧品科学	①		
			必修	薬学文献講読1	①		
			必修	薬学文献講読2	①		
			必修	薬学文献講読3	①		
			必修	薬学文献講読4	①		
			必修	卒業研究1	①		
			必修	卒業研究2	①		
			必修	卒業研究3	①		
			必修	卒業研究4	①		
			必修	プレゼンテーション1	①		
			必修	プレゼンテーション2	①		
			合計				後任補充状況の集計
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	25 科目	必修	25	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0	自由	0 科目
		計	25 科目	計	25	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成28年度の留意事項に指摘されたように、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、これらのうち2名の教員を兼任としました。また、教職センターの設置及び研究室の配置換えにより、3名の教員を兼任へ変更しました。これに伴い、学内の適任の教員2名を本学科の専任教員として新たに配置し、設置基準の教員数以上の専任教員を確保し、授業科目を担当しています。また、専任教員から兼任又は兼担に変更した5名の教員は、引き続き、授業科目を担当するため、教育に支障はないものと考えます。これらについては、平成29年度当初のガイダンスにおいて学生へ説明し、また、シラバスに授業担当教員名を記載して、学生への周知を図っております。(29)

**令和元年度には、専任教員を増員し、設置計画時より多くの専任教員を確保し、一層の教育研究の充実に努めております。(元)**

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設 置 時  (26年)	該当なし。		
設置計画履行状況 調 査 時  (27年)	<p>・薬学部薬科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>これまで、薬学部（6年制）におきましては、教員の定年退職年齢について、一律に67歳としておりました。</p> <p>平成25年度の就業規則の改定により、定年年齢を引き下げ、教授を65歳、准教授・講師等を60歳としました。</p> <p>平成26年度以降の教員の定年退職及び補充に際しては、定年年齢改定の移行緩和措置をとりつつ、同意を得られる範囲で改定後の定年年齢を越える教員の退職促進及び若手の新規採用を図っております。</p> <p>一方、薬科学科においては、平成27年度学科新設及び教職課程開設準備に際し、創薬等高度な教育・研究レベルの確保及び円滑な教育・研究の開始のため、若手教員のほか、学識経験豊かな教員を学内外から配置・採用した結果、定年年齢を越える教員の割合がやや高くなりました。</p> <p>順調に学科の教育・研究が進捗した後は、定年年齢を越える専任教員数の割合の是正を図るよう、教員組織編制の将来構想について検討しております。</p>	<p>平成28年度中に教員組織編制の将来構想を確立し、順次、教員年齢構成の是正を図る計画です。</p>

是正意見

未履行

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 時 (28年)	<p>・薬学部薬科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p> <p style="text-align: center;">改善意見</p>	<p>これまで、薬学部（6年制）におきましては、教員の定年退職年齢について、一律に67歳としておりました。</p> <p>平成25年度の就業規則の改定により、定年年齢を引き下げ、教授を65歳、准教授・講師等を60歳としました。</p> <p>平成26年度以降の教員の定年退職及び補充に際しては、定年年齢改定の移行緩和措置をとりつつ、同意を得られる範囲で改定後の定年年齢を越える教員の退職促進及び若手の新規採用を図っております。</p> <p>一方、薬科学科においては、平成27年度学科新設及び教職課程開設準備に際し、創薬等高度な教育・研究レベルの確保及び円滑な教育・研究の開始のため、若手教員のほか、学識経験豊かな教員を学内外から配置・採用した結果、定年年齢を超える教員の割合がやや高くなりました。</p> <p>順調に学科の教育・研究が進捗した後は、定年年齢を越える専任教員数の割合の是正を図るよう、教員組織編製の将来構想について検討しております。</p> <p>平成29年度は、教員組織編成の将来構想（案）に基づき、配置換え及び非常勤への変更により、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数は、昨年度の3人から0人となり、割合は27%から0%となりました。</p> <p>（添付資料1「薬科学科教員組織編成の将来構想（案）」(29)(30)（元）</p> <p style="text-align: center;">履行済</p>	



区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	該当なし。		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	・完成年度にもかかわらず専任教員数が届出時の計画から減少している。提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。	指摘事項 (改善)  平成31年4月、専任教員を3人増員し計12人と致しました。設置届出時計画した専任教員11人以上を確保致しました。 「5 教員組織の状況」参照	履行済  添付資料1「薬科学科教員組織編成の将来構想(案)」に基づき、引き続き専任教員を適切に管理する計画です。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <薬学部 薬科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし。	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

学部長、各学科長さらに教務部長からなるFD委員会を設け、教育方法等の改善のための組織的な研修会や研究会を行うことによって教員の資質の維持向上に努めています。

別添資料2「横浜薬科大学 FD委員会運営規程」参照

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ H29. 4. 26 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H29. 5. 20 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H29. 6. 14 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H29. 7. 14 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、自己点検・評価委員長
- ・ H29. 8. 22 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H29. 9. 6 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚
- ・ H29. 10. 25 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H29. 11. 14 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H29. 12. 12 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H30. 1. 15 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H30. 2. 6 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H30. 3. 19 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H30. 6. 22 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長
- ・ H31. 2. 23 学部長、学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、自己点検・評価委員長

###### c 委員会の審議事項等

- ・ 教員講義及び実習に対する考え方等に関するアンケート結果の配布について
- ・ H. 28年度のFD研修会での提言の回答について
  - カリキュラムマップの作成とカリキュラム再編
  - シラバスの早期作成
  - 中間試験の実施
  - 定期試験問題の開示
  - 適切な定期試験対策の指導、定期試験難易度の設定と振り返り
  - 授業参観の制度化
  - 成績評価法の改善
  - 自己分析シート活用の制度化
- ・ 研究業績の評価基準について
- ・ 教員の内部昇格について
- ・ 教員の内部昇格基準、評価基準について
- ・ 教授昇格後の研究論文発表目標について
- ・ 大学院指導教員の論文等発表基準について
- ・ 初頭教育、留年者等の教育体制について
- ・ 教育・研究実績評価に基づく研究室の再編について

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・ F D ・ S D 研修会の実施
- ・ 教員の資質向上を目的とした評価基準の設定
  - ① 第三者評価における基準の遵守
  - ② 教員採用、昇格の基準の設定
  - ③ 本学の教育方針（指針）の設定
- ・ 授業評価等の実施
- ・ 浜葉研究交流セミナーの実施
- ・ 教員活動報告書の作成
- ・ 教育・研究年報の作成

### b 実施方法

- ・ F D ・ S D 研修会の実施  
「教育研究の質向上について～学力向上を目指して」を検討テーマとした討議と発表（1泊2日）
- ・ 教員の資質向上を目的とした評価基準の設定
  - ① 第三者評価における基準の遵守：本学としての教員評価の基準を設定（職能、職位別）
  - ② 教員採用、昇格の基準の設定：職位別に教育・研究等の基準を定めた教員採用、昇格内規を作成
  - ③ 本学の教育方針（指針）の設定：学生の単位履修の可否判定に関する教員裁量の妥当性を設定
- ・ 授業評価等の実施：  
授業終了後に全科目の「授業に関するアンケート」をとり、教員に自分の授業に対する正しい評価を知ってもらい、次年度以降の教育改善に資することとしています。  
アンケート集計結果を学内webに掲載し、教員間で互いに情報を共有しています。これにより、学生の意見も真摯に受け止め、改めるところは改めるなど、教育改善に役立てるよう努めています。
- ・ 浜葉研究交流セミナー  
各教員が持ち回りで、教育研究内容を発表
- ・ 教員活動報告書、教育・研究年報  
報告書を作成して、自己の活動を意識させる。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ F D ・ S D 研修会の実施（9月4・5日）
- ・ 授業評価等の実施：各学期末に実施
- ・ 教育・研究年報（平成29年度）の作成
- ・ 教員活動報告書の作成

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

授業終了後に全科目の「授業に関するアンケート」をとっています。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果を学内webに掲載し、教員間で互いに情報を共有しています。  
アンケート結果は担当教員自らの手で集計してこれに対する自己評価を作成し提出。これをFD委員会で管理・保存しています。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項  
該当なし

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>本学では、設置者、学長、副学長、学長補佐、学部長、4学科長、教務部長、学生部長、厚生部長、図書館長、各学科准教授、講師、助教又は助手、実務実習教員および事務長を委員から構成される自己点検・評価委員会を設けております。</p> <p>点検項目ごとに関係する特別委員を加えたワーキンググループを設け、様々な問題点を把握して逐次現状を見直し、内容の改善と内部質保証に努めることとしております。</p> <p>自己点検・評価にあたっては、先ず、現在行われている教育研究活動等について現状を正確に把握・認識することが重要であり、その上で改善を要する問題点、積極的に評価すべき特色、今後の方向などの評価を実施します。</p> <p>点検・評価の項目としては大学の教育活動、研究活動、教員組織などの評価項目を設けています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育理念にそった教育がなされているか</li><li>・教育活動は六年制薬学及び四年制薬科学にふさわしい内容であるか</li><li>・研究活動は活性化されているか</li><li>・教員組織は充足しているか</li></ul> <p>またこの四項目以外に、施設・設備、国際交流、社会との連携、管理運営、大学の財政等に亘る広い範囲の自己点検項目を設けて、委員会が一定期間ごとに点検評価を行います。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 平成30年7月</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上に公表</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>平成27年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け 令和元年5月に評価機関（薬学教育評価機構）へ自己点検評価書を提出し、評価を受けるべく実施中</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年5月31日 )</p> <p>c 公表無の場合の特段の理由 ( )</p>
---

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。